

アイデアは分岐する。  
発想を受け止めるには、良い  
書き方（ノート記法）を使う。

発想ノート法

- ・マンダラート
- ・マインドマップ

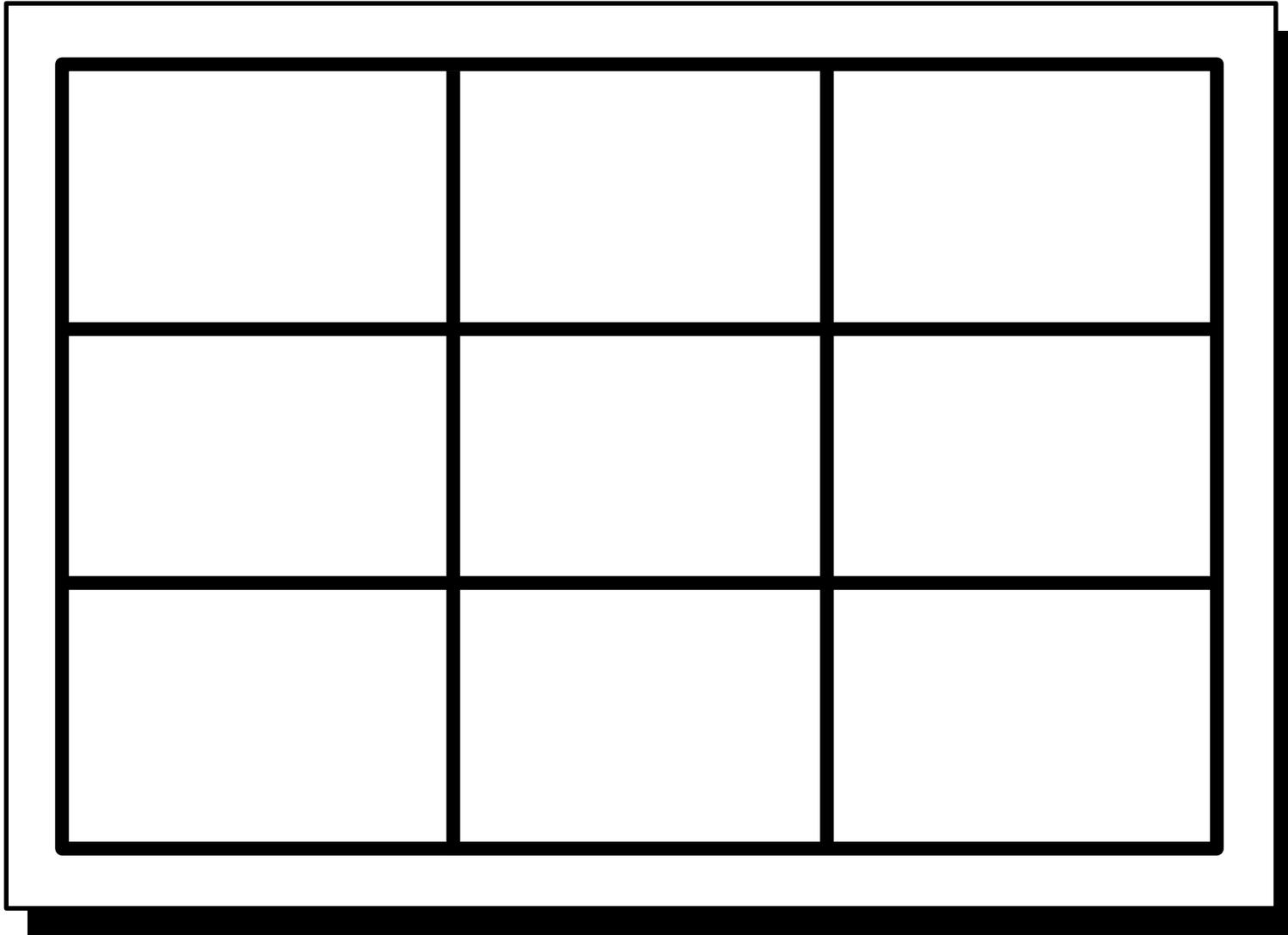
# マンダラート

---

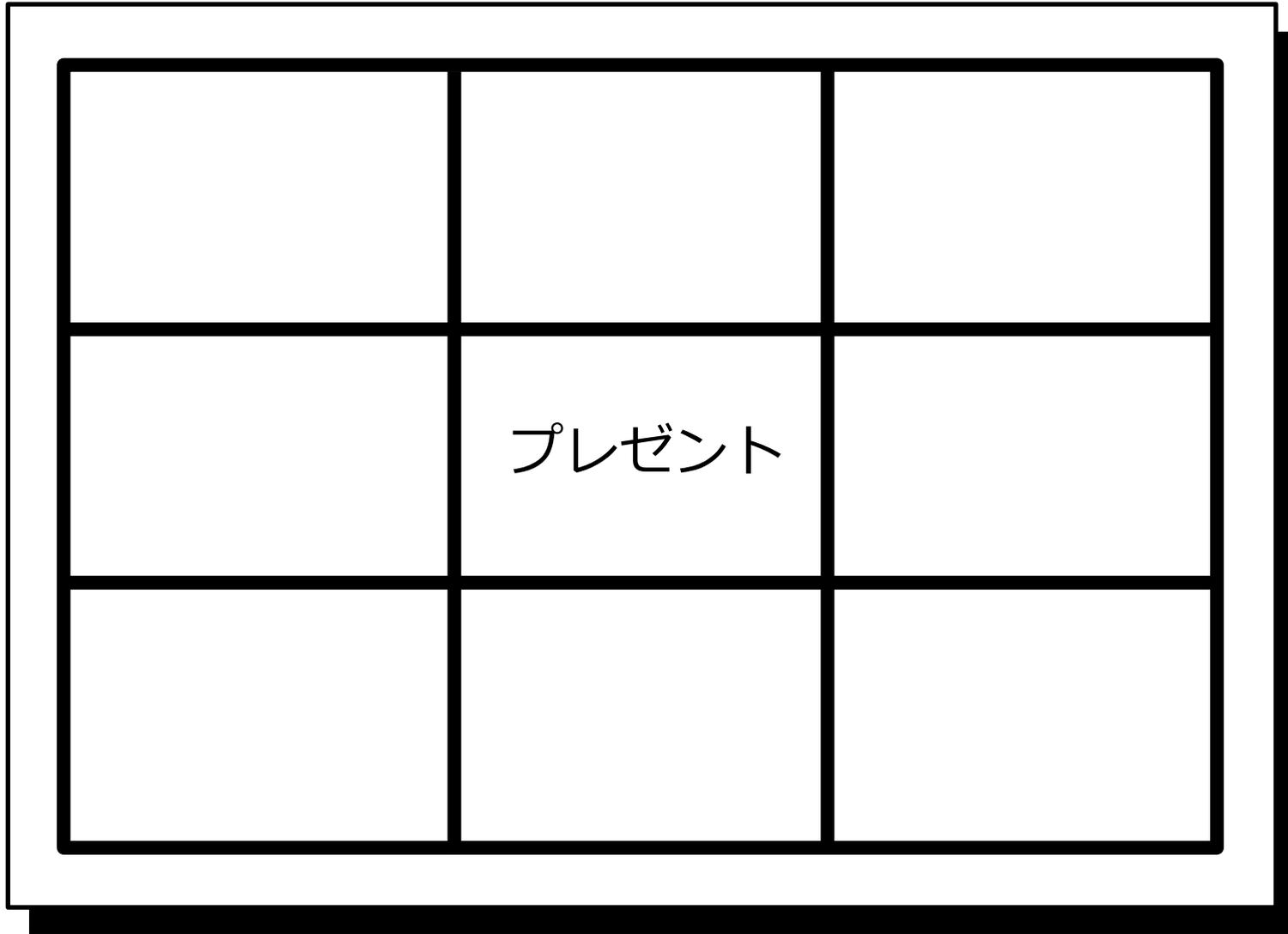
- マンダラートって？
- 描きかた
- 共同作業での使い方

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

(マンダラートの例)



まず<sup>3</sup>3×3の升目を書く



中心に発想のテーマを書く

		カップ
	プレゼント	お皿
	新じゃが	クオカード

思いつくことを、書いていく

(4個ぐらいはすぐに出る)

		カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

頑張って、全部埋めようとする

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

## 力が働くので意外と書ける

(リストではそうなりにくい)  
(脳はゲシュタルトを求める)

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

	アルバム	

一つ選び、新しい紙に展開する

		室内
	アルバム	周辺の町並み
見学者を入れて	フードマップ	周辺の四季

そこから思いつくことを書く

SDカードで	フォト フレームで	室内
一泊体験 + 自動撮影	アルバム	周辺の 町並み
見学者を 入れて	フード マップ	周辺の四季

そこから思いつくことを書く

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

SDカードで	フォトフレームで	室内
一泊体験 + 自動撮影	アルバム	周辺の町並み
見学者を入れて	フードマップ	周辺の四季

	アルバム	

	パン	

“アルバム”を中心に2枚目のマンダラートを書いてもOK

別の言葉からも、展開する

マンダラートは、アイデアの深堀を  
どこまでも、してゆけます。

企画ネタが見つかったら  
途中でやめてもOK。

連想することがどんどん出てきたら、  
枠の外にちょっと書いてOK。

(手法というのは「助走」に過ぎない)

# マインドマップ

---

- マインドマップって？
- 効果的に描くコツ
- 共同作業での使い方

この技法は、  
アイデアを膨らませる時に  
便利です。

発想のテーマに対して  
アイデア（のパーツ）が  
得られます。

# 発想例

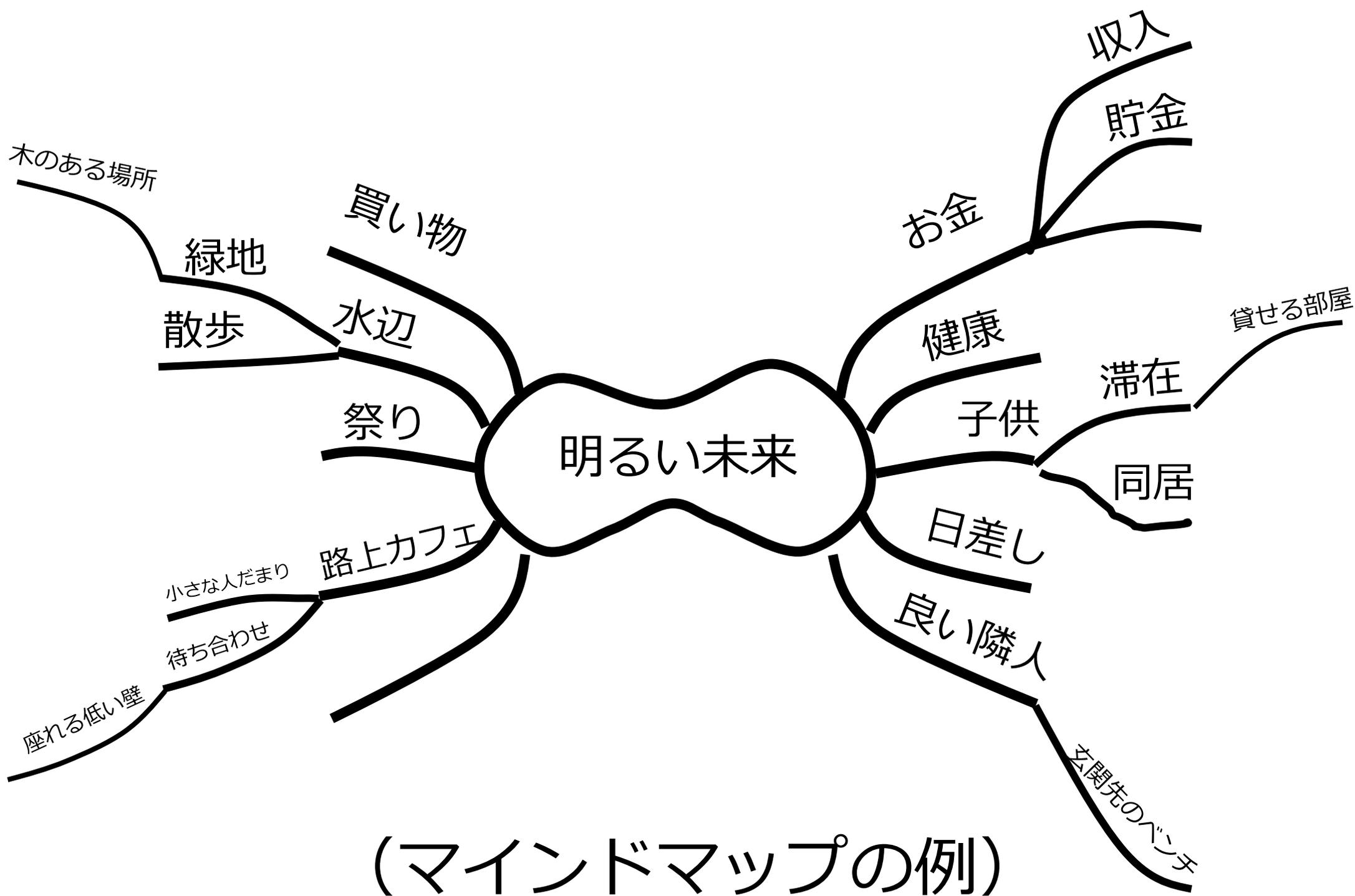
クライアントから

「明るい未来を想起させるような  
テイストで案を出して」

といわれたシーン。 (広いな・・・と悩む)



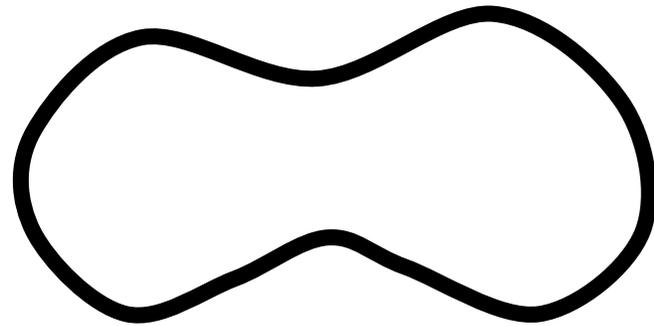
マインドマップで発想すると  
こうなります。



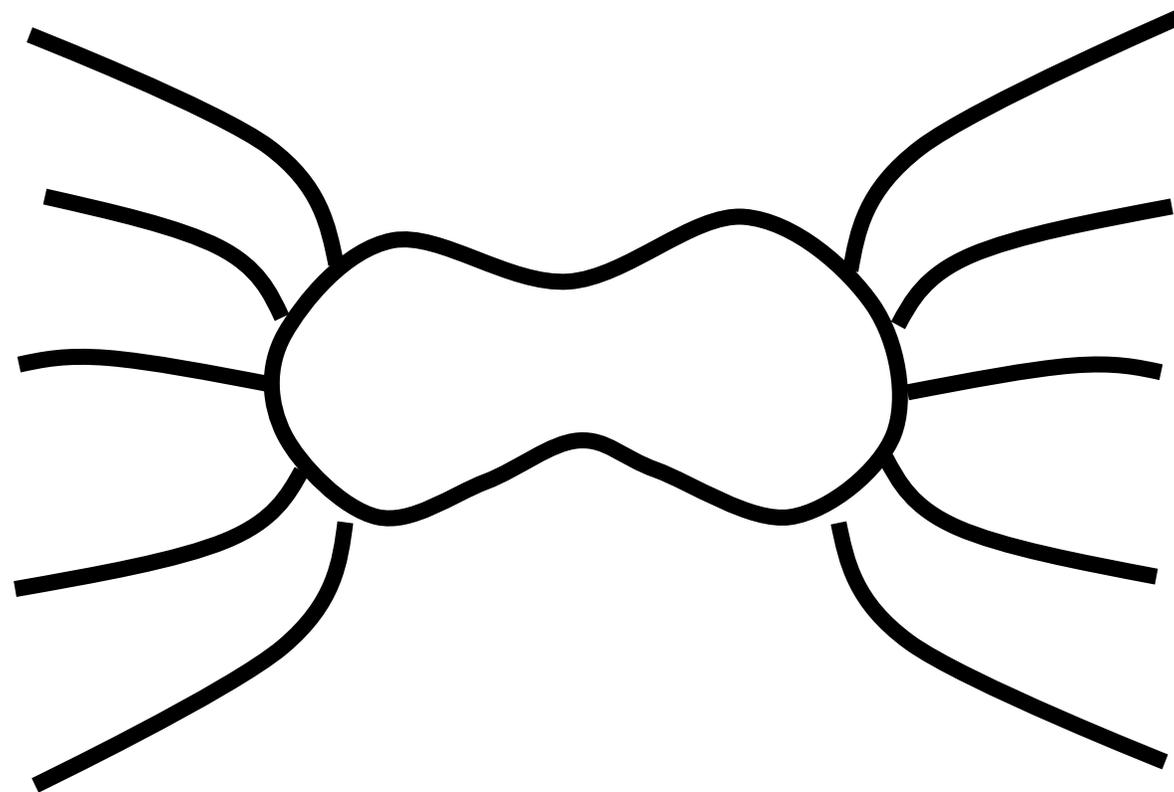
(マインドマップの例)

書き方を把握すれば、  
自分の中のいい案を  
掘り当てられます。

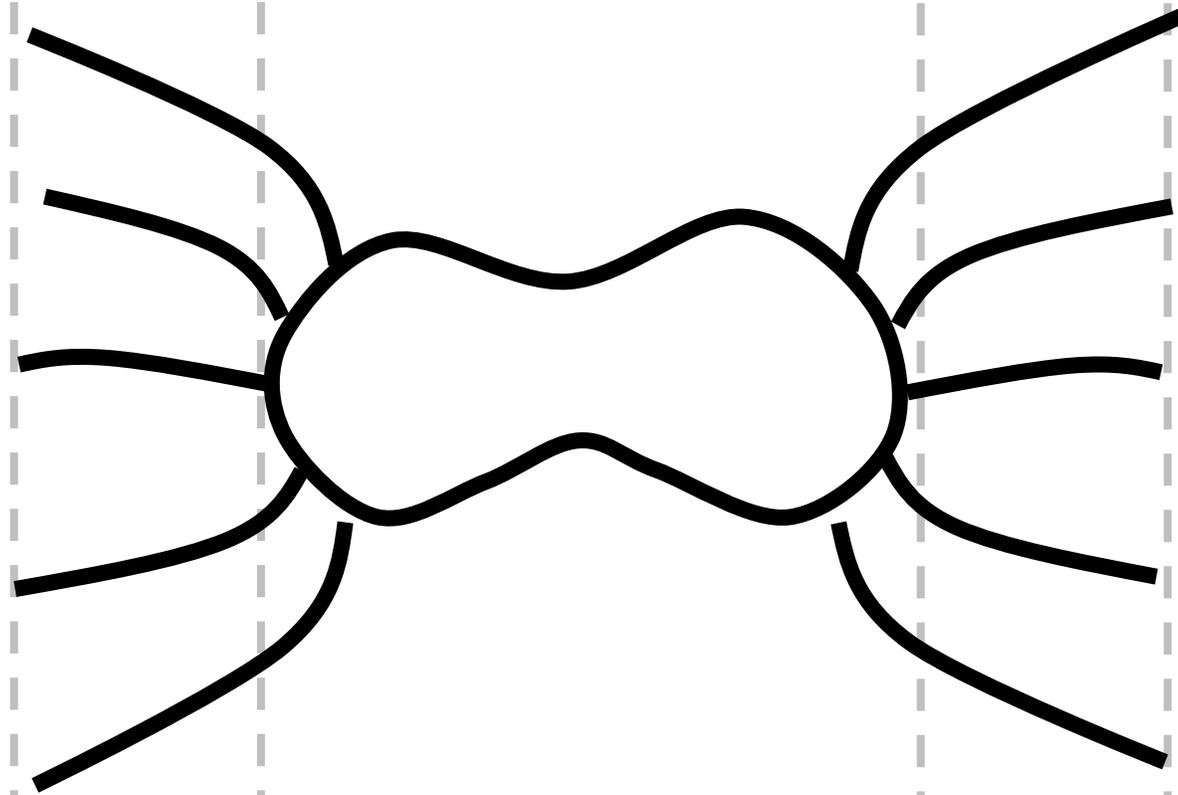
# 効果的な書き方



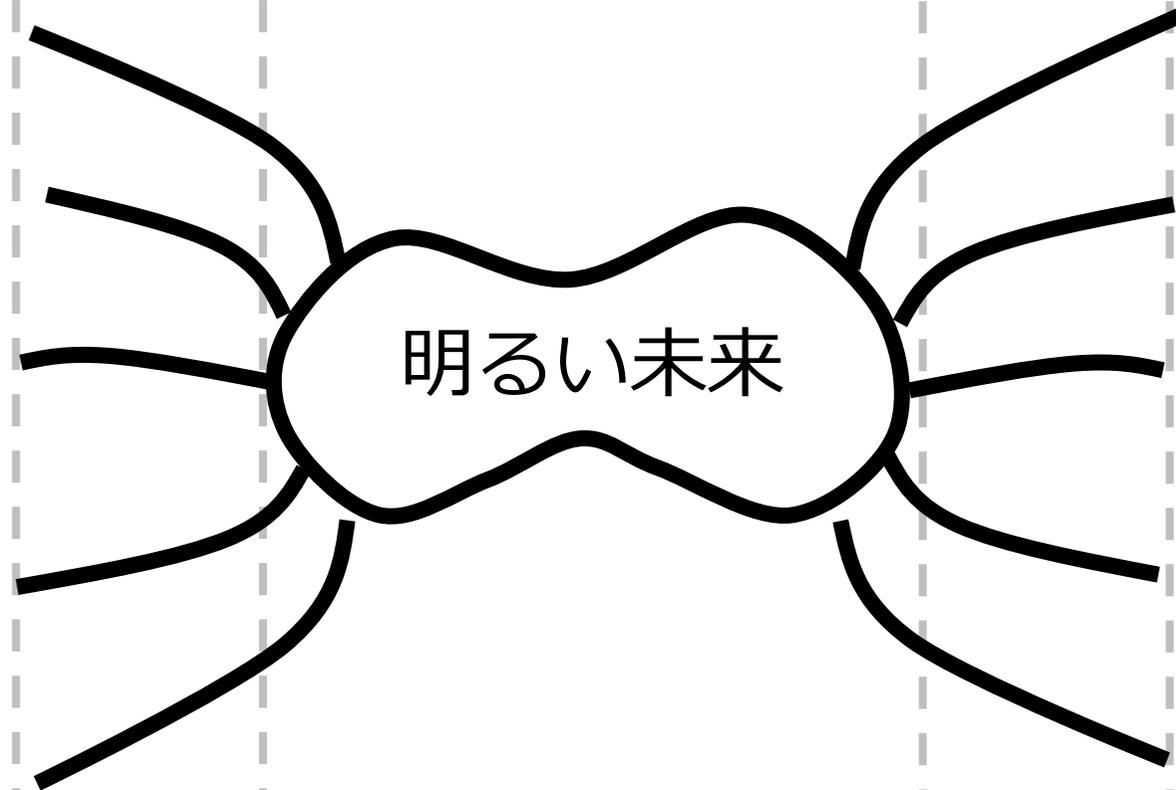
中心に丸を描く



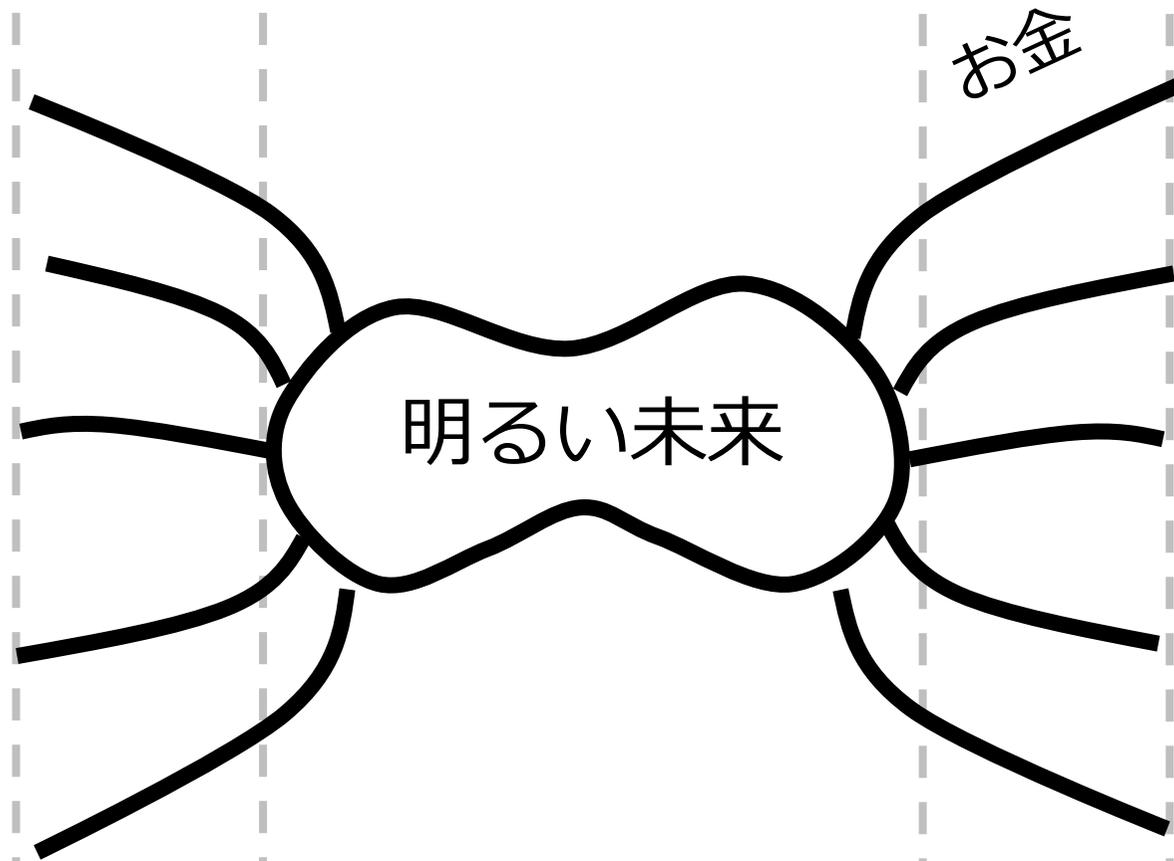
枝を10本かく



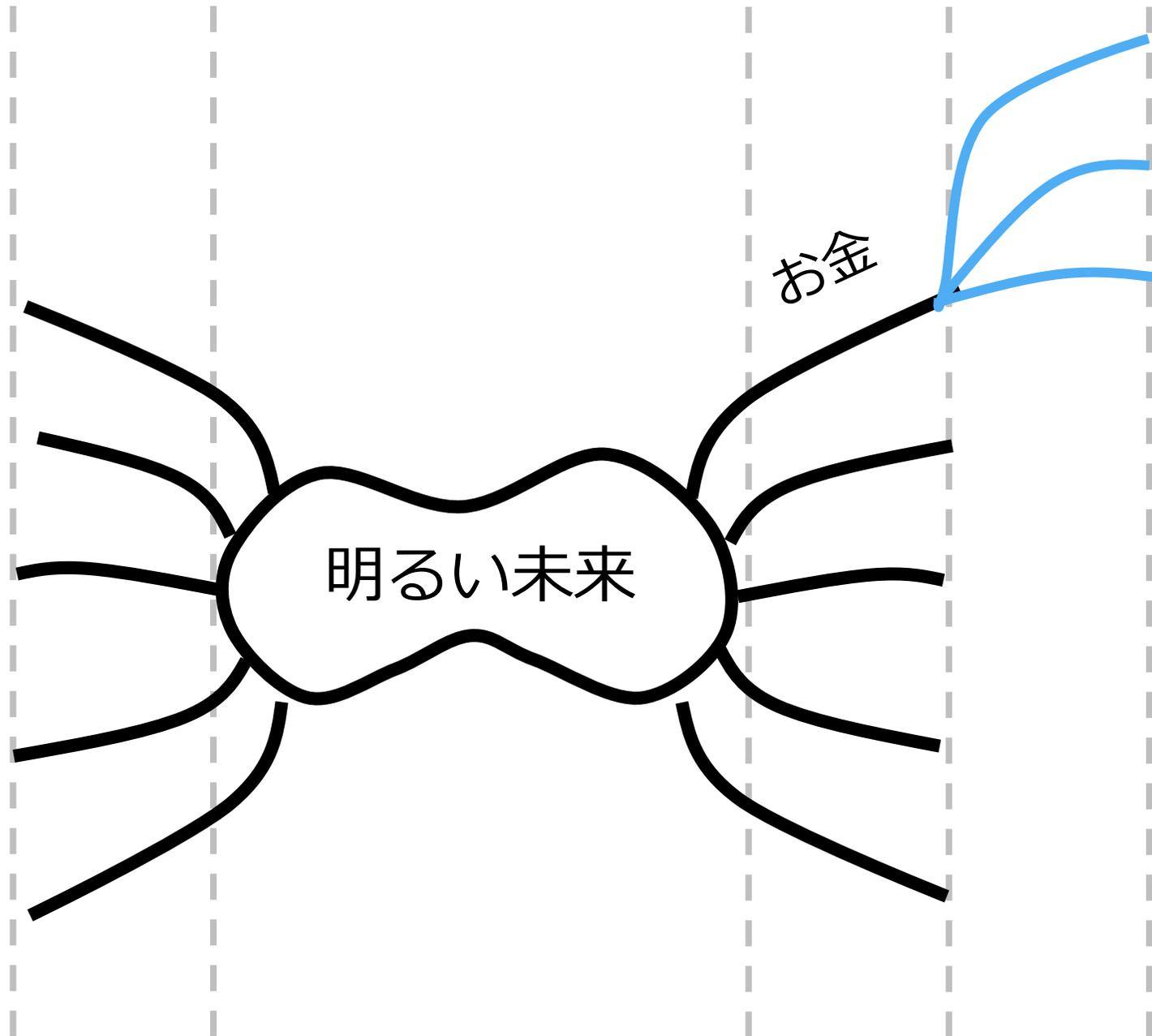
長さは、3段を目安に



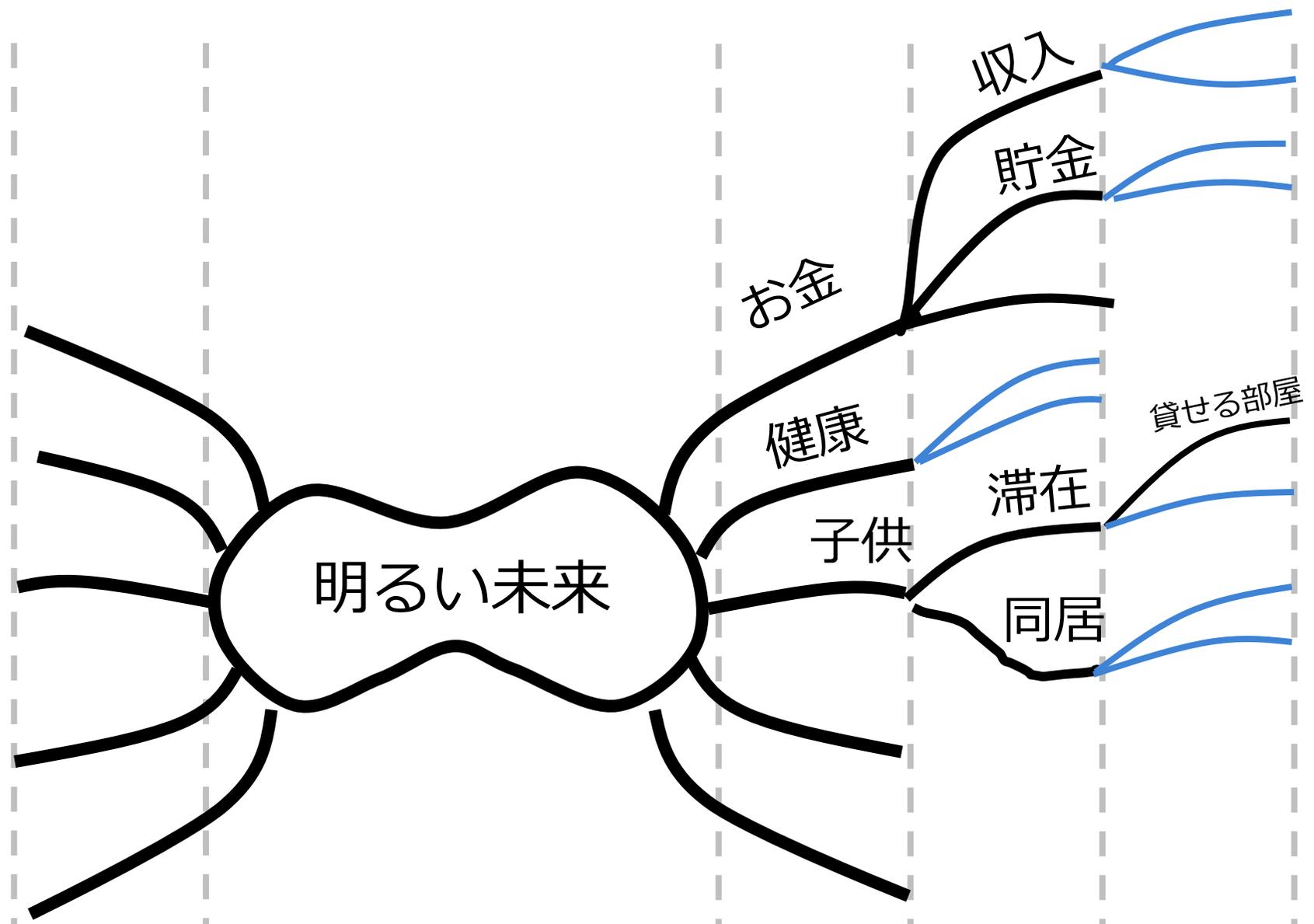
中心に発想のテーマ



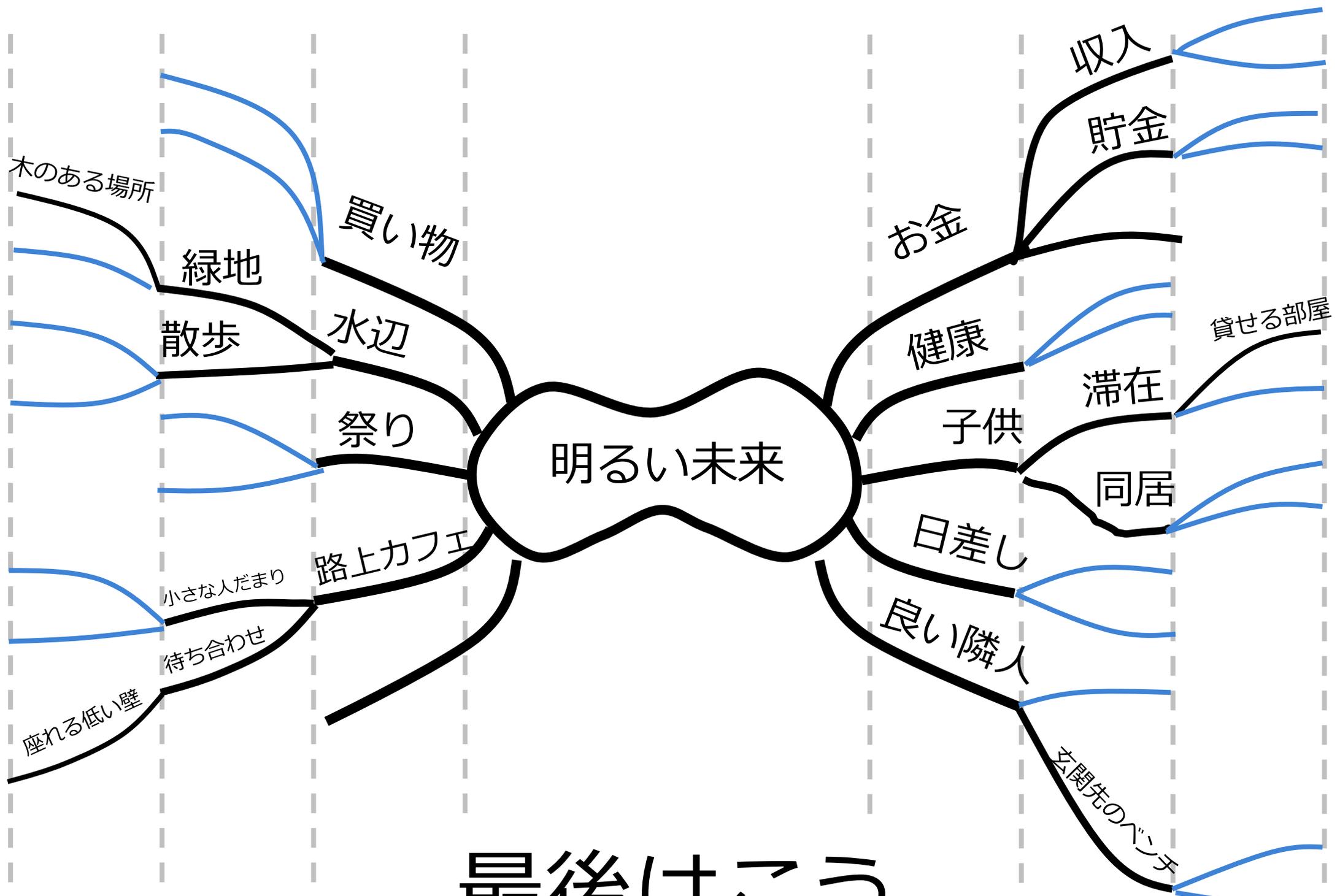
想起することを、短く書く



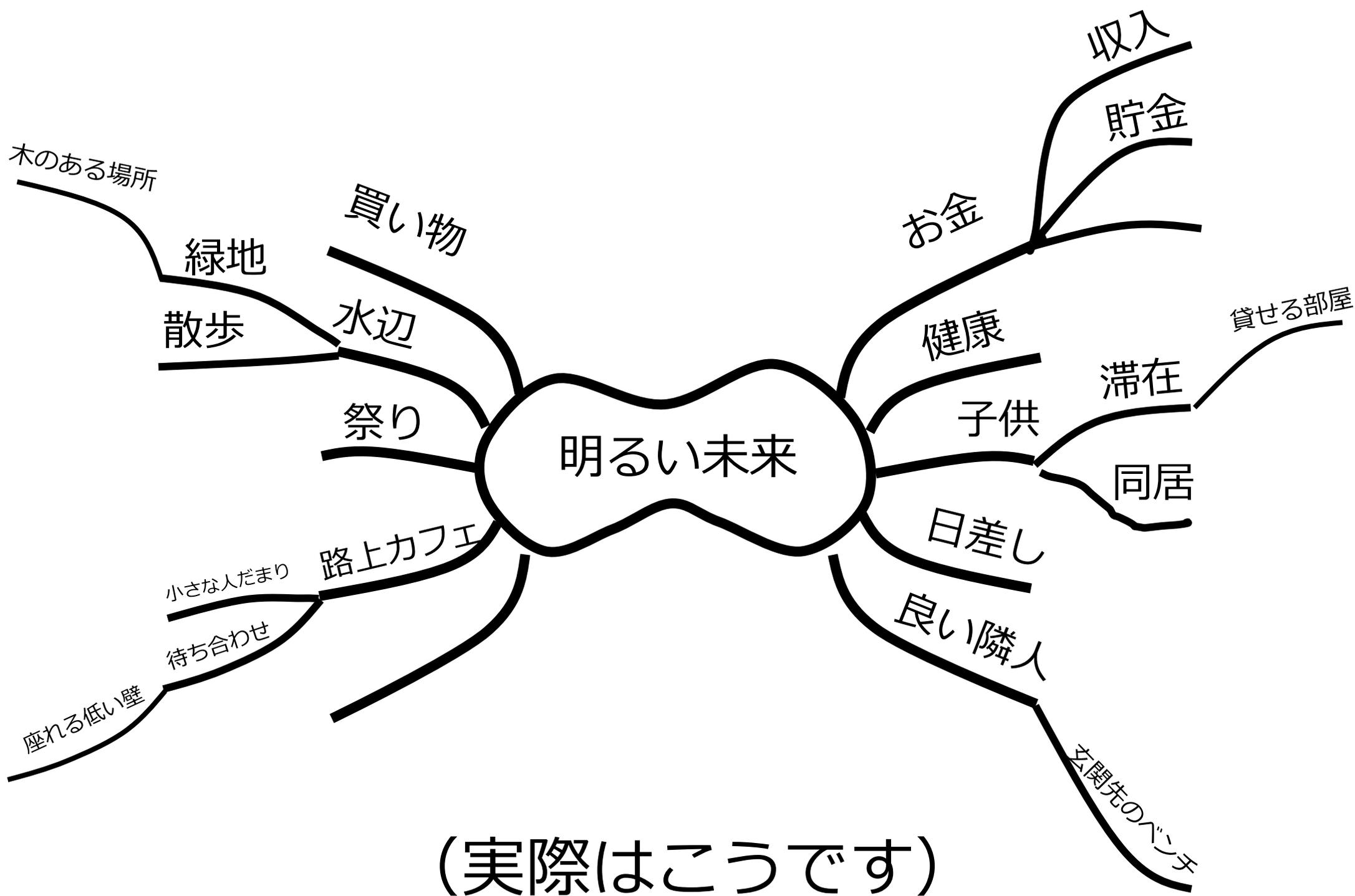
書いたら、伸ばす



空いている枝はうめる

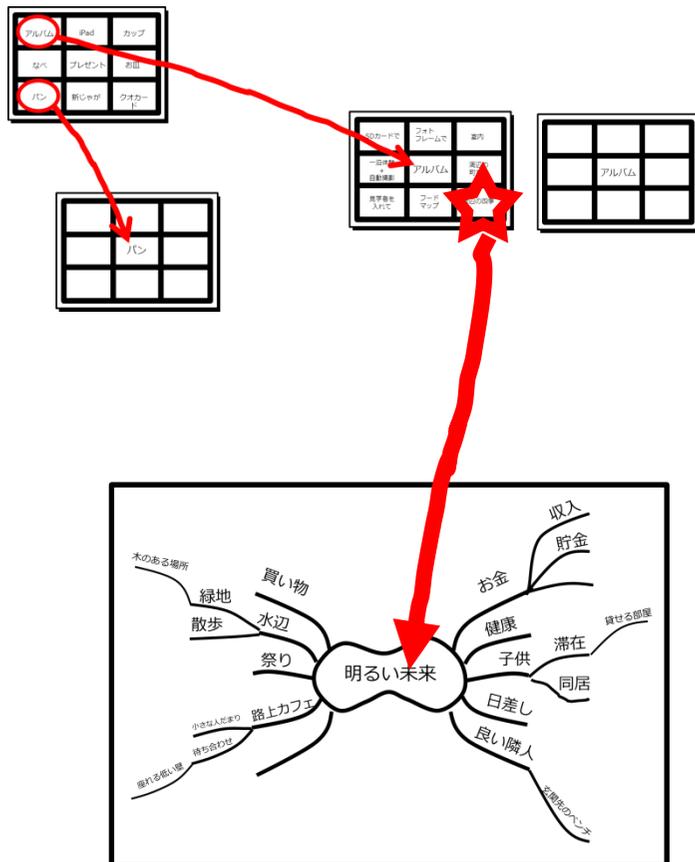
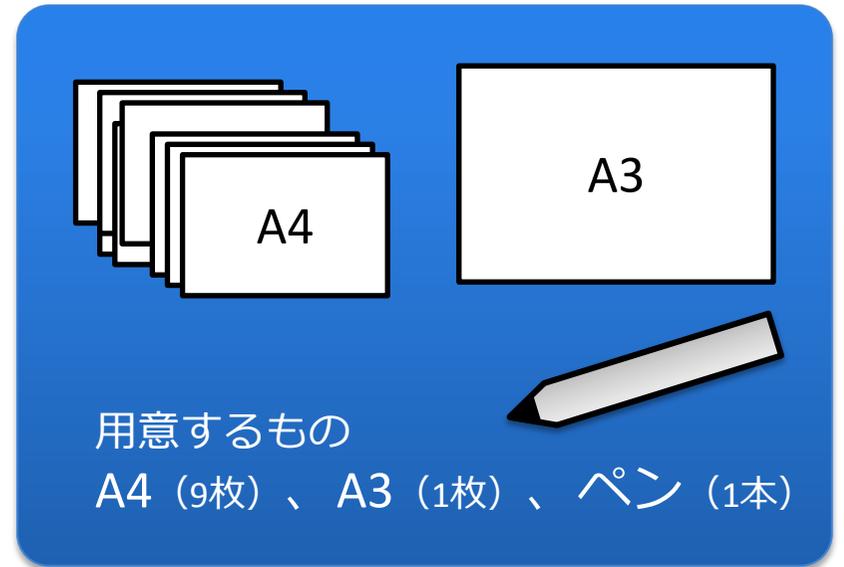


最後はこう



(実際はこうです)

# 2つを連続して 用いるのもよい



「沢山の言葉を引き出すのに  
マンダラートを使い  
↓  
いいものが見つかったら  
↓  
マインドマップで深める」